



《全日本中学校長会》

令和7年8月1日（金）

8月 会長メモ

会長 青海 正



今年の夏も、全国的に平年よりも気温が高くなります。特に7月末から8月前半にかけて暑さのピークが来ると見込まれており、猛暑日や酷暑になる可能性があります。体にこたえる危険な暑さが続くため、今後も熱中症には、より一層の警戒が必要です。生徒たちは夏休みを活用してさまざまな貴重な体験をする時期でもあります。前例のない暑さだからこそ、従来の慣習にとらわれずに、十分な対策をお願いします。

各地区における中学校長会研究大会について

7月に入り、7月3日・4日に第65回東海北陸中学校長会研究協議会岐阜大会が岐阜県岐阜市において、レトロな雰囲気漂う岐阜市民会館大ホール、都ホテル岐阜長良川を拠点に開催されました。東海・北陸7県から約700人の校長先生方が参加され、大変熱心な研究協議が行われました。また、同日程で第75回東北地区中学校長会研究協議会が山形県山形市において、やまぎん県民ホールをはじめホテルメトロポリタン山形等の複数の会場で盛大に開催されました。双方の研究大会に参加させていただき、会場を埋め尽くす会員の皆様の姿を見て真っ先に頭に浮かんだのが「校長会の存在意義」でした。参加者は、学校に帰れば最高責任者であり、学校の顔ともいえるべき存在です。その皆さんが一堂に会して研鑽する姿は、まさにここに我が国の中学校教育の現在があり、未来があると実感させるものでした。私も新幹線を乗り継ぎ、お邪魔した甲斐がありました。たくさんの方の充実感とお土産を購入し、帰路につきました。東海北陸、東北の皆様、大変お世話になりました。

今後、全九州中学校長研究協議会熊本大会（8/20～）、北海道中学校長会研究大会胆振・室蘭大会（9/26～）、全日本中学校長会研究協議会香川大会（10/22～）が予定されています。各地区並びに全国大会の大成功を心より祈念しております。

日本教育連盟 日韓教育文化交流について

日本教育連盟は、昭和26年4月1日に、教育関係の6団体により設立されました。「日本教育の振興を図り、併せて教育の国際的協力を促進する。」ことをその目的としています。現在は全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会の3団体により構成されています。本連盟では、昭和55年から大韓民国（以下、「韓国」とする）の韓国教員団体総連合会との間で、両国の教職員団体の発展並びに教職員の友好推進のために、相互に教育文化交流を実施しています。日韓のこの2つの団体は、隔年交互に相手団体の推薦する教員を招聘し、教育研究発表会を行っています。これまでコロナ禍で事情があった年を除き、交流を続けてきました。昨年12月には、日本側から韓国を訪問し、「教育環境と教員の働き方」について有意義な研究協議会を実施されました。

今年度は7月10日（木）、カン・ジュホ会長をはじめ韓国教員団体総連合会代表団の皆様を、東京にお迎えして開催されました。

現在、日本や韓国をはじめとする東アジアの国々は、かつてない変化の時代に直面しています。急速に進む少子高齢化は、労働力や社会保障など多くの側面に影響を与えています。さらに、AIやデジタル技術の進化や地域紛争などの不安定さなどによって、私たちはまさに「先の見えない時代」を生活していると言えるでしょう。このような社会の大きな転換期において、私たち両国が教育を通じて未来を共有していくことの意義は、ますます大きくなっています。教育は、単に知識や技術を伝える手段ではなく、多様な価値観を理解し、共に未来を築く力を育む基盤です。それは、人と人、国と国とを結び、対立を超えて対話と共生を可能にする「架け橋」となるのです。

特に、歴史的・文化的なつながりを持ちながらもそれぞれの道を歩んできた日本と韓国において、教育交流は、未来志向の信頼関係を築くための大きな可能性を秘めています。両国の子供たちが互いに学び合い、支え合いながら、変化の時代を生き抜く知恵と力を培っていくことこそ、私たち教師の責任であり、希望でもあります。

午前中の板橋区立上板橋第二中学校での学校施設の視察、授業参観、給食の試食の後、ホテル東京ガーデンパレスにて、両国の今日的な教育課題である「不登校」をテーマに、両国代表による主題発表を基調提案として、質疑応答、自由討論など活発な議論が交わされました。韓国教総は、約13万人の会員を擁する同国最大の教育団体で、教育施策や立法にも大きな影響を及ぼしています。

日韓教育交流は、今年で36年目を迎えました。互いを尊重し、学び、実践する豊かな交流が継続することを期待しています。

第1回 Web 副会長会（7月25日）について

前半では、文部科学省初等中等教育局教科書課 西田 将史 課長補佐を招聘し、演題「学習者用デジタル教科書の現在と今後」をテーマに、ご講演をいただきました。ご講演では、紙とデジタルの利点を活かしつつ学びの質を高めるため、文科省としてデジタル教科書導入の趣旨を丁寧に周知していく必要がある旨のお話が西田様よりありました。

その際、今年度もオンライン(Zoom)を活用し、希望する会員の皆様も勤務地から視聴できるようにし、当日は、100名を超える会員の方が、本研修会に参加することができました。

後半では、議事が行われ、その中で、副会長の皆様から、「各地区の様子及び地区大会での成果と課題について」等、報告・提案がありました。また、記念出版委員会および教育研究部、事務局から「中学校教育八十年記念誌」について、「香川大会における全日中提案」について、「香川大会における分科会講評」についてなどに関する提案がありました。

各教育関連団体の活動について

7月に各教育関連団体等の活動について、全日中として以下のとおり参加しておりますので参考までに紹介させていただきます。

名 称	開催日	出席者
中央教育審議会初等中等教育分科会 150 回	7 月 1 日 (火)	会長
中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会 131 回	7 月 9 日 (金)	会長
日韓教育交流事業 (午前 板橋区立上板橋第二中学校、午後 ホテル東京ガーデンパレス)	7 月 10 日 (木)	会長・教育研究部長 事務局長・次長
関東甲信越地区事務局長会 (長野市「信濃教育会館」)	7 月 11 日 (金)	事務局長
中央教育審議会初等中等教育分科会 151 回	7 月 25 日 (金)	会長
中教審教育課程企画特別部会 (11 回)	7 月 28 日 (月)	会長
全国保健主事研究大会 (ホテルスプリングス幕張)	7 月 29 日 (火)	教育研究部長
第 57 回全国公立小中学校事務研究大会 滋賀大会	7 月 31 日 (木)	事務局長
第 67 回全国公立学校教頭会研究大会 茨城大会	7 月 31 日 (木)	予算対策部長
第 75 回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会 東京大会 (ウエスティンホテル東京)	7 月 31 日 (木) 8 月 1 日 (金)	会長